

1・本園の教育目標

幼児一人ひとりの可能性を広げるために、幼児の主体的な遊びを十分に確保し、自発的に遊べる保育環境の中で、友だちどうしのかかわりを大切にした教育を目標としている。また「食育」として、食べることは生きていく上での最も大切なことと位置づけ、様々な取り組みをしています。幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教師との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友だちと十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2・本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・身体を動かし、基礎体力の向上・体力増進を行い健康に過ごす。
- ・保育内容を子どもの成長に合わせて検討し計画的に進める。

3・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況と今後の課題
保育の計画性について	年間・月案で学年ごとにカリキュラムを作成し計画的に保育を進め、成長に合わせ修正や見直しを行っている。
保育のあり方、 幼児への対応について	個々への細かな対応を行い、安心して保育に参加できるように心掛け対応してきた。
保護者への対応について	保護者が安心して送り出せるように、個々それぞれに合わせた丁寧な対応を行ってきた。
開かれた幼稚園づくり について	屋上開放を行い見学も個別対応で受け入れ一人ひとりのニーズに合わせて実施してきた。
研修と研究について	研修の共有を行えるように、機会や場を設けるよう今後に向けて話し合っている

4・学校評価の具体的な目標や計画の総合的な結果評価

時間の制限がある中でも、職員間のコミュニケーションが取れるように時間を作り、会議などにて情報共有を心掛けてきた。情報共有を今後も大切にしていく。

5・学校関係者評価

保護者の方々も様々な行事において子どもたちの成長を感じておられることが伺えた。また、今後も改善点などについては、話し合いを持ち改善点を見つけ職員間で検討をしていく。

